

文京学院大学 2026年4月より本学初の文理融合型教育が始動 「ヒューマン・データサイエンス学部」設置認可のお知らせ ～既存学部の学びを生かした5番目の学部誕生～

文京学院大学（学長：福井勉）は、文部科学省より設置認可を受け、2026年4月に「ヒューマン・データサイエンス学部」を開設します。

本学の4学部で培ってきた知見にデータサイエンスやAIを掛け合わせることで、学生一人ひとりが自らの関心に沿ったテーマを探究し、幅広い分野で学びを深められる、他にはない教育モデルを提供します。

データやAIを活用して社会課題に挑む力は、いま社会が最も求めているスキルであり、本学部はそのニーズに応える新たな学びの場となります。

本件のポイント

- データサイエンス・AIを活用して社会課題を分析し、解決策を導く力を育成
- 学生の関心に応じて幅広い領域で学びを深められるカリキュラム
- 企業・自治体・NPOと連携したPBLを1年次から実施し、社会で活かせる実践力を養成

■学びの特色

本学部では、これからの時代に欠かせないヒューマンスキル — 社会課題を見つけ出す力、データサイエンス・AIを活用する力、プロジェクトを運営する力 — を体系的に育成します。

社会が直面する課題は、環境問題や地域づくり、健康、国際協力など多岐にわたります。こうした課題の理解を深めるために、本学部では「ヘルスケア」「地域づくり」「異文化間コミュニケーション」という三つの領域を設けており、学生は関心のある分野を選択し、課題発見に必要な知識を学びます。

さらに、データサイエンス・AIを活用して、課題を分析する力を養い、データの収集・分析・活用のスキルを社会課題の文脈に沿って学ぶことで、データを“本当に役立つ形”に変える力を磨きます。

加えて、本学部では1年次から企業・自治体・NPOと連携したPBL（プロジェクト型学習・課題解決型学習）に取り組み、1・2年次には「課題解決型学習」を通して社会課題の発見とデータ分析の基礎を習得します。3年次以降は「プロジェクト型学習」で実践的な経験を積み重ねていきます。

データやAIの技術だけでは、現実の社会課題を解決することはできません。

本学は、課題の本質を理解する力と、データサイエンスを適切に活用する力、そして現場での実践経験を三位一体として提供します。こうした総合的な教育を通して、データサイエンス・AIを駆使し社会課題に具体的な解決策を提示できる、まさに今求められている人材の育成を目指します。



■「ヒューマン・データサイエンス学部」概要

- ◇学部名 : ヒューマン・データサイエンス学部 Faculty of Human-centered Data Science
- ◇学科名 : ヒューマン・データサイエンス学科 Department of Human-centered Data Science
- ◇学位 : 学士(ヒューマン・データサイエンス) Bachelor of Human-centered Data Science
- ◇入学定員: 110名
- ◇所在地 : 東京・本郷キャンパス(東京都文京区向丘1-19-1)
- ◇URL : <https://www.bgu.ac.jp/ds/>